

## 知的財産の成果

## Achievements in Intellectual Property

研究開発戦略を推進する過程で創出された成果を発明の観点から権利化している。その際、事業戦略や研究開発戦略に応じて、コア技術を中心として特許網の構築、重点分野での集中出願、及び事業のグローバル展開を意識した外国出願の強化を行い、技術成果の資産価値の増大を図っている。

日本登録特許件数(2008年)

順位	企業名	日本登録件数
1	パナソニック	4,776
2	東芝	3,255
3	リコー	3,168
4	ソニー	3,126
5	トヨタ自動車	3,049
6	デンソー	2,703
7	セイコーエプソン	2,625
8	シャープ	2,573
9	キャノン	2,550
10	三菱電機	2,542

\* PATOLISを利用した調査結果

米国登録特許件数(2008年)

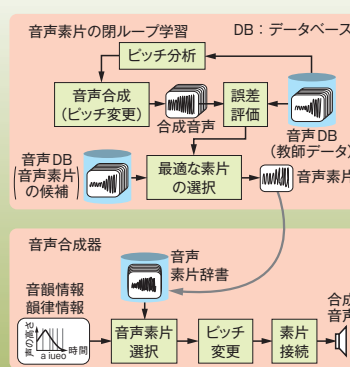
順位	企業名	米国登録件数
1	IBM	4,186
2	三星電子	3,515
3	キャノン	2,114
4	マイクロソフト	2,030
5	インテル	1,776
6	パナソニック	1,745
7	東芝	1,609
8	富士通	1,494
9	ソニー	1,485
10	ヒューレット・パッカード	1,424

\* 米IFI社データ

(社)発明協会から、科学技術の向上と産業の発展に功績があったことが認められ、2008年は全国発明表彰で下記の賞を受賞した。

### 【内閣総理大臣発明賞】 特許第3281266号「省メモリ高音質音声合成技術」

省メモリと高音質を兼ね備えた音声合成を初めて実現し、既にカーナビや電子辞書、福祉機器、ゲームソフトなどで広く利用されており、更に、海外市場への展開のため、日本語に加えて欧米及びアジアの主要な8言語の音声合成システムを開発し、発明の有効性が確認されていることが高く評価された。



### 【発明賞】 意匠登録第1293616号「ビルトインIHクッキングヒーター」

フレームレス型トッププレートの独創的な意匠が新たなデザインの先駆けとなり、IH(Induction Heating)クッキングヒーター市場に新しいスタイルを生み出した点が評価された。

\* 東芝ホームアプライアンス(株)と共有



### 【日本商工会議所会頭発明賞】 特許第2916780号「時間差の高分解能測定」

建物及び橋の施工などや、土地の現況を図面に表す作業を高い精度でかつ効率的に行うことが求められる測量分野において、新規技術を用いた光測距装置を提供することで時間差の高分解能測定を可能とし、測定可能距離を大きく伸張できたこと、災害による斜面の崩落地のように立入りができない危険地域において被害状況の定量化や復旧に必要な費用と期間の見積りを可能としたことなどが評価された。

\* (株)トプコン単独特許

